



2023年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社 K e y H o l d e r
代 表 者 名 代表取締役社長 大出 悠史
(証券コード番号 4712・スタンダード市場)
問い合わせ先 執 行 役 員 柴野 光平
電 話 番 号 0 3 - 5 8 4 3 - 8 8 8 8

第三者割当による自己株式処分に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、第三者割当による自己株式の処分（以下「本自己株式処分」という。）を行うことにつき決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 処分要領

(1) 処分期日	2024年1月4日
(2) 処分する株式の種類及び数	普通株式 262,977株
(3) 処分価額	1株につき874円
(4) 処分総額	229,841,898円
(5) 処分予定先	高澤 真（株式会社10ANTZ 代表取締役社長）
(6) 処分方法	第三者割当の方法による
(7) その他	本自己株式処分については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件といたします。

2. 処分の目的及び理由

当社グループにおきましては、これまでに数々のM&Aの実施を通じて規模の拡大を含む組織体制の強化及び再編に努めた結果、現在のIPホルダーでありつつ、興行・映像制作・広告企画などのアウトプット手段も有する、総合エンターテインメント企業グループとしての体制を構築してまいりました。

この度の本自己株式処分につきましては、新たなM&Aの実施として、本日付け「子会社による（株式会社ノース・リバー）株式会社10ANTZの株式一部取得による当社の孫会社化に関するお知らせ」のとおり、主にゲームアプリの企画・開発・運営等を行う株式会社10ANTZ（東京都澁

谷区、代表取締役：高澤 真、以下「テナンツ」という。)の株式の一部を、当社の連結子会社である株式会社ノース・リバー（以下「ノース・リバー」という。）が取得することに関連し、両社の一層の強固な連携を継続的に図ることを目的として、テナンツの代表取締役である高澤氏を引受先とする、第三者割当による自己株式の処分を行うものであります。

ノース・リバーによるテナンツの株式取得にあたり、当社グループが有するアーティスト等のIPやコンテンツのほか、株式会社UNITED PRODUCTIONSなどが生み出す映像コンテンツや、株式会社FA Projectのデジタル広告事業ならびに、bijoux株式会社によるオーディション企画の開催と運営など、当社グループにおける各種既存リソースとのあらゆるシナジーによる新展開が期待でき、結果として双方のさらなる事業規模の拡大を図れるものと考えており、今後のテナンツを交えた事業活動及び展開における実効性を高め、経営に対して一定のコミットメントをお持ちいただくことならびに、長期的なパートナーシップを構築することを図るべく、同社の高澤氏を引受先とする第三者割当による自己株式の処分が最善の方法であると判断しております。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

処分価額の総額	発行諸費用の概算額	差引手取概算額
229,841,898円	1,000,000円	228,841,898円

- (注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。
2. 発行諸費用の概算額の内訳は、有価証券届出書等の書類作成費用、弁護士費用です。

(2) 調達する資金の具体的な使途

使途	支出予定額	時期
エンターテインメント事業における収益の拡大と発展のための運転資金	228百万円	2024年1月～2024年12月

本自己株式処分は、資金調達を目的とするものではなく、前記「2. 処分の目的及び理由」に記載のとおり、あくまでも当社グループと高澤氏との長期的なパートナーシップを構築することを直接の目的としており、当社の連結子会社であり、当社グループにおいて重要な役割を担うノース・リバーがテナンツの株式を取得する一方で、テナンツの代表取締役にしてキーパーソンである高澤氏を処分予定先とすることで、高澤氏の当社グループ全体に対するステークホルダーとしてのコミットメントの強化が期待でき、結果として当社グループ全体の企業価値向上に働くものと考えております。

この目的を達成するために、本自己株式処分に関連し、ノース・リバーは高澤氏との間で、高澤氏が保有するテナンツの株式の一部をノース・リバーが譲り受ける旨の株式譲渡契約を締結しており、その譲渡代金（以下「本件譲渡代金」という。）につきましては、本第三者割当の払込期日と同日である2024年1月4日にノース・リバーから高澤氏に対して譲渡代金を支払うこととなっており、高澤氏からは本件譲渡代金の一部を原資として当社に払込みが行われる予定です。

そのため、差引手取概算額の使途につきましては、現時点で具体的な使途は決まっていないものの、将来的なM&Aや、現在、当社子会社である**b i j o u x**株式会社において推進している、オーディション開催・運営事業など、グループ全体の事業規模拡大のための運転資金として充当する予定です。なお、支出実行までの資金管理については、当社預金口座にて管理を行います。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

本自己株式処分により調達する資金は、「2. 処分の目的及び理由」及び「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期」に記載のとおり、高澤氏との連携強化や当社の業務運営に資するものであり、合理性があるものと考えております。

5. 処分条件等の合理性

(1) 処分価額の算定根拠及びその具体的内容

処分価額につきましては、最近の株価推移に鑑み、高澤氏との協議を踏まえ、当社取締役会は、本第三者割当に係る取締役会決議日の直前営業日（2023年11月10日。以下「基準日」という。）の株式会社東京証券取引所（以下「東証」という。）における当社株式の終値である874円を基準といたしました。

当該価格は、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」にも準拠しており、東証における当社株式の基準日以前1か月間の終値平均である871円（円未満四捨五入。以下、終値平均の計算において同様に計算をしております。）に対して0.34%のプレミアム、基準日以前3か月間の終値平均である877円に対して0.34%のディスカウント、基準日以前6か月間の終値平均である968円に対して9.71%のディスカウントをした金額となっており、上記を勘案した結果、本自己株式処分に係る処分価額は、特に有利なものとはいえず、合理的なものとして判断しております。

なお、上記処分価額につきましては、取締役会に出席した監査役3名（うち2名は社外監査役）が、処分価額の算定根拠は合理的なものであり、特に有利な処分価額には該当せず、適法である旨の意見を表明しております。

(2) 処分数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本自己株式処分に係る株式数は、262,977株（議決権数2,629個）であり、2023年6月30日現在の発行済株式総数18,967,410株に対し1.38%（2023年6月30日現在の総議決権個数185,553個に対し1.41%）の割合に相当し、一定の希薄化をもたらすこととなります。しかしながら、当社と高澤氏との長期的なパートナーシップを構築することを直接の目的としており、ひいては当社の企業価値の向上に繋がるものと考えており、処分数量及び株式の希薄化の規模は合理的な水準であると判断しております。

6. 処分先の選定理由等

(1) 処分先の概要

処分先の概要	氏名	高澤 真
	住所	東京都渋谷区
	職業の内容	株式会社10ANTZ 代表取締役社長 (所在地：東京都渋谷区渋谷三丁目12番18号渋谷南東急ビル4階) (事業の概要：ゲームアプリ事業、プラットフォーム事業、映像・IP事業、デジタルマーケティング事業、エンタメテックソリューション事業)
当社と処分先との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	処分予定先が代表取締役を務めるテナンツと当社子会社であるノース・リバー及び株式会社 a l l f u z との間で、ゲームアプリに関する取引があります。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(2) 処分先を選定した理由

この度の本第三者割当につきましては、新たなM&Aの実施として、2023年11月13日付け「当社子会社（株式会社ノース・リバー）による株式会社10ANTZの株式の一部取得による当社の孫会社化に関するお知らせ」のとおり、主にゲームアプリの企画・開発・運営等を行うテナンツの株式の一部を、ノース・リバーが取得することに関連し、両者の一層の強固な連携を継続的に図ることを目的として、テナンツの代表取締役である高澤氏を処分先とする、第三者割当による自己株式の処分を行うものであります。

テナンツにつきましては、ノース・リバーが関連している女性アイドルグループ「乃木坂46」のメンバーとの恋愛疑似体験ができる、乃木坂46公式恋愛シミュレーションゲームアプリ「乃木恋～坂道の下で、あの日僕は恋をした～」の開発・運営元であり、また、同様に当社の連結子会社である株式会社 a l l f u z が、同社のアプリゲーム事業に係る業務の一部を受託するなどの取引実績を有するなどの形で当社グループとは接点がございました。このような接点を背景に、同社代表である高澤氏との間で今後の双方における事業展望や可能性につき話し合いを持つ中で、ノース・リバーによるテナンツの株式取得の案が持ち上がりました。

協議の結果、テナンツの株式の過半数である51%をノース・リバーが取得し、同社を当社の孫会社とすることにより、当社グループが有するアーティスト等のIPやコンテンツのほか、株式会社UNITED PRODUCTIONSなどが生み出す映像コンテンツや、株式会社FA Projectのデジタル広告業ならびに、b i j o u x株式会社によるオーディション企画の開催と運営など、当社グループにおける各種既存コンテンツと、テナンツの有するアプリ開発・運営リソースを組み合わせることで、様々なデジタルコンテンツの新規展開などのシナジーが期待でき、結果として双方のさらなる事業規模の拡大を図れるものと考えてに至りました。

これに加えまして、今後のテナンツを交えた事業活動及び展開における実効性を高め、経営に対して一定のコミットメントをお持ちいただくことならびに、長期的かつ強固なパートナーシ

ップの構築を図るべく、同社の代表取締役である高澤氏を処分先とする第三者割当による自己株式の処分が最善の方法であると判断しております。

(3) 処分先の保有方針

当社は、高澤氏が本第三者割当により取得する株式について、中長期に保有する方針であることを書面で確認しております。

なお、当社は、高澤氏から、高澤氏が払込期日から2年以内に本第三者割当により取得する当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容を書面にて当社に報告すること、並びに当社が当該報告内容を東京証券取引所に報告すること及び当該報告内容が公衆縦覧に供されることに同意することにつき、それぞれ確約書を取得する予定です。

(4) 処分先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

本件株式譲渡契約に基づいて、高澤氏が所有するテナントの株式のノース・リバーへの譲渡の対価として、ノース・リバーから高澤氏に対して支払われる譲渡代金の一部により払込みされるため、払込み時点においては高澤氏が払込みのための必要かつ十分な資金を有するものと判断しております。なお、当社は、ノース・リバーの2023年6月30日現在の貸借対照表記載の現金及び預金の残高を確認しております。

(5) 処分先の実態

当社は、処分先が反社会的勢力等でないこと及び反社会的勢力等と何らかの関係を有していないか、第三者調査機関である株式会社セキュリティー&リサーチ（代表者：羽田寿次、住所：東京都港区赤坂二丁目16番6号）に調査を依頼しました。そして、公開情報（登記簿謄本などの官公庁提出書類、インターネット、雑誌、週刊誌などからの情報収集）及び同社の保有する独自情報（同社が独自に集積し構築した反社会的・反市場的勢力の情報）との照合等による調査を行った結果、現時点において、高澤氏に関する反社会的勢力等の関与事実がない旨の報告書を受領いたしました。これにより、当社は、高澤氏が反社会的勢力等ではないこと及び反社会的勢力等とは何らかの関係を有していないと判断しております。なお、当社は、「割当を受ける者と反社会的勢力との関係がないことを示す確認書（第三者割当）」を株式会社東京証券取引所に提出しております。

7. 処分後の大株主及び持株比率

処分前（2023年6月30日現在）		処分後	
Jトラスト株式会社	29.81%	Jトラスト株式会社	29.81%
秋元 康	7.59%	秋元 康	7.59%
倉田 将志	5.56%	株式会社表参道キャピタル	7.23%
株式会社SME J P l u s	2.59%	株式会社SME J P l u s	2.59%
森田 篤	1.99%	森田 篤	1.99%
株式会社表参道キャピタル	1.67%	株式会社フォースリー	1.58%
株式会社フォースリー	1.58%	赤塚 善洋	1.57%

赤塚 善洋	1.57%	株式会社第一興商	1.55%
株式会社第一興商	1.55%	高澤 真	1.38%
株式会社KeyHolder	1.53%	株式会社電通グループ	1.17%

※処分後の大株主及び持株比率は、2023年6月末日時点における株主名簿を基準として、本日時点までに財務局長に提出されている大量保有報告書等を参考に、当社独自で算定した参考値となります。

8. 今後の見通し

本自己株式処分による、当社の2023年12月期連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。今後の業績に重要な影響が見込まれる場合には速やかにお知らせいたします。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本自己株式処分は、①希釈化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続は要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績（連結：IFRS）

（単位：百万円）

	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
連結売上高	10,700	16,786	22,062
連結営業利益	1,605	743	2,024
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,288	461	1,877
1株あたり連結当期利益（円）	78.91	26.53	99.75
1株あたり配当金（円）	10.00	10.00	10.00
1株あたり連結純資産（円）	830.38	885.61	976.29

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（2023年6月30日現在）

	株式数	発行済株式総数に対する比率
発行済株式総数	18,967,410株	100%
現時点の転換価額（行使価額） における潜在株式数	2,046,090株	9.7%
下限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数	一株	—
上限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数	一株	—

※現時点の転換価額（行使価額）における潜在株式数の発行済株式総数に対する比率は、2023年6月末日時点における発行済株式総数に、2023年10月31日時点の潜在株式数を加算して算定した参考値となります。

(3) 最近の株価の状況

①最近3年間の状況

	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
始値	917円	651円	715円
高値	917円	676円	733円
安値	881円	645円	715円
終値	882円	672円	723円

②最近6か月間の状況

	2023年5月	2023年6月	2023年7月	2023年8月	2023年9月	2023年10月
始値	1,044円	1,108円	1,038円	905円	899円	872円
高値	1,055円	1,125円	1,049円	914円	909円	880円
安値	1,026円	1,090円	1,025円	894円	890円	863円
終値	1,040円	1,105円	1,035円	903円	901円	870円

③処分決議日前営業日における株価

	2023年11月10日
始値	863円
高値	877円
安値	860円
終値	874円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

・第三者割当増資（資本業務提携に伴う新株式発行）

払込期日	2020年12月21日
調達資金の額	299,999,745円
発行価額	1株につき 1,017円
募集時における発行済株式数	16,575,783株
当該募集による発行株式数	294,985株
募集後における発行済株式数	16,870,768株
割当先	株式会社第一興商
発行時における当初の資金使途	グループ運転資金 96百万円 エンターテインメント事業における収益の拡大と発展 200百万円
発行時における支出予定時期	2020年12月～2021年11月
現時点における充当状況	当初の予定通り充当いたしました。

・第三者割当増資（資本業務提携に伴う新株式発行）

払込期日	2021年1月8日
------	-----------

調達資金の額	499,999,914円
発行価額	1株につき 1,017円
募集時における発行済株式数	16,870,768株
当該募集による発行株式数	491,642株
募集後における発行済株式数	17,362,410株
割当先	株式会社SME J P l u s
発行時における当初の資金使途	グループ運転資金 194百万円 エンターテインメント事業における収益の拡大と発展 300百万円
発行時における支出予定時期	2021年1月～2021年12月
現時点における充当状況	当初の予定通り充当いたしました。

11. 処分要項

「1. 処分の概要」に記載のとおりであります。

以上